

公益社団法人日本新体操連盟

平成 30 年度第 2 回総会議事録

1. 会議名： 平成 30 年度第 2 回総会
2. 日時： 平成 31 年 3 月 12 日（火） 14 時 00 分～14 時 35 分
3. 場所： 東京都港区西麻布 3-2-32
「麻布霞会館・201 号室」
4. 構成員現在数： 21 名
5. 出席社員数： 18 名
以下出席社員
中村 恵 (Amelia)
岡本 さおり (アンジュ)
松坂 佳子 (ヴェニエラ RG)
長野 美智代 (ANGEL R.G CLUB)
高橋 美意子 (C A N D Y . M . R G)
高橋 匡子 (京都たかはし新体操クラブ)
下野 里香 (SATTE 新体操クラブ)
滝澤 廣美 (シェリー R.G)
北川 礼子 (S t e l l a R ☆ G)
堤 祐子 (Twinkle Star RG)
安達 美佐 (西福岡新体操クラブ)
比企野 智子 (NOVA 新体操クラブ)
美谷島 知子 (フェアリー R . G . クラブ)
三浦 有紀子 (PLANET)
飯島 千果 (ポップエンジェル R G)
本江 睦 (マリン)
安井 初子 (RATU RG)
本田 美香 (Rin RG)
6. 欠席社員数： 3 名
松木 いつか (北上新体操クラブ)
河野 美香 (N P O クレスト)
菊本 幸 (ヒューマン R G)
7. 出席役員： 二木 英徳 (会 長) 関田史保子 (副 会 長) 池田真喜子 (専務理事)
渡辺 守成 (常務理事) 秋山エリカ (理 事) 熊谷 正儀 (理 事)
崇島 慎一 (理 事) 谷口 裕代 (理 事) 橋本 千波 (理 事)
村田 愛子 (理 事) 守永 直人 (理 事)
以上 11 名
8. 欠席役員： 石崎 朔子 (副 会 長) 山崎 浩子 (常務理事) 谷原 誠 (理 事)
宮嶋 泰子 (理 事) 小島浩二郎 (監 事)
以上 5 名
9. 議案：
決議事項
第 1 号議案 平成 31 年度事業計画について (定款第 4、35 条、第 4 章関連事項)
第 2 号議案 平成 31 年度収支予算について (定款第 4、35 条、第 4 章関連事項)
第 3 号議案 その他
10. 議事の経過及び結果
(1) 議長による開会宣言
(公社)日本新体操連盟・定款第 15 条の定めにより議長を会長二木英徳が務め、開会宣言を行った。

(2) 定足数の確認

定款第 17 条により総会出席者数 18 名であることが崇島慎一理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(3) 議事録署名人の選出

定款第 18 条により、議長は議事録署名人を二木英徳会長、渡辺守成常務理事と谷口裕代理事にする事を議場に諮り承認された。

(4) 議決事項

第 1 号議案 平成 31 年度・事業計画について（定款第 4, 35 条関連事項）

議長は説明者として守永理事を指名し、守永理事は下記内容の説明を行った。

1. 平成 31 年度年間事業計画について

2020 年に迫ったオリンピックの関係で昨年に引き続き、東京都内の体育館が使えないため、主要大会を高崎アリーナにて開催する。

日本新体操祭は 30 年度の開催実績が大幅な減少であったため、31 年度は休止とする。

2. 第 28 回全日本新体操クラブ選手権について

「第 28 回クラブ選手権」を 8 月 16 日から 8 月 18 日にかけて高崎アリーナにて開催する。

1 部リーグでは 31 年度大会からシードチームを 5 チームから 3 チームへ変更する。この変更は、決勝参加全選手が 4 種目を行った結果で全日本への出場権を争えること。進行時間の変動をなくし、選手への負担を減らすこと。終了時間が早くなるので、選手団の経済的負担の軽減を目的としている。

3. 第 19 回全日本新体操クラブ団体選手権について

「第 19 回団体選手権」を 8 月 29 日から 9 月 1 日高崎アリーナにて開催する。

AGG は国際 AGG 連盟とのこれまでのやり取りから不信感を持ち、今後国際 AGG 連盟と信頼関係を築くのは困難であり、その中で AGG を続けていくことは選手にとっても不幸であると判断し、AGG 競技の取り扱いをやめることとなった。

その代案として、新体操徒手の部を設けた。多くの選手の成果発表の場となると考えている。

全日本選手権ではこれまで 1 種目の演技で出場権を得たチームのもう 1 種目のレベルが低い場合、出場権獲得大会の 2 種目実施を要望している。この大会ではその要望を受け、シニアの部で予選決勝方式を採用した。予選上位 8 チームが決勝でもう一方の種目を演技して順位を決定する。

4. 世界新体操クラブ選手権について

「世界新体操クラブ選手権」を 10 月 24 日から 27 日で開催する。

オリンピック前年の開催や、過去に多くの参加を集めた日程と近い場合、競技日 4 日間開催を予定している。参加チーム数によって変更となる事がある。

5. 第 22 回全日本新体操チャイルド選手権・第 19 回全日本新体操キッズコンテストについて

「第 22 回チャイルド選手権」「第 19 回キッズコンテスト」を 2020 年 2 月 21 日から 23 日にかけて開催する。

21 回大会を開催したところ、3・4 年生の部で競技力があがり、高い手具難度を行う選手が見られた。22 回大会に向け、ルールの見直しを検討している。

6. セミナーについて

審判セミナーを大会と合わせて開催する。現在帯同審判制度を設けているが、審判が不足気味となってきた。多くの方に受講いただき、審判員を増やしていきたい。

質問・意見

- 比企野代議員 AGG が無くなったのは残念だが、代わりに団体徒手の部が出来て良かった。クラブとしては多くのクラブ生が参加できることは大変メリットがある事だ。団体徒手の正選手が 5 名となっているが、もっと増やすことはできないのか。
- 池田専務理事 理事会で人数の幅を持たせる事も検討した。しかし、団体競技であるので 5 人で行うことが良いと決まった。
- 渡辺常務理事 国際体操連盟でも AGG について議論がある。AGG はあくまでも一般体操であるとの認識だ。人数が代わるのであれば、日本体操祭やジмнаストラダなどに参加すればよいと考えている。競技と言う事であれば、決まった人数の中でやるのが競技との認識だ。
- 比企野代議員 チャイルド選手権で、徒手の部が無くなって数年経つ。1・2年生でキッズコンテストを行って、3・4年生から急に手具ありとなる。段階的に1年キッズコンテスト、2年徒手の部、3・4年手具ありと段階を踏むことはできないのか。
- 池田専務理事 以前徒手の部を行っていたことがあったが、皆同じ演技となってしまった。この大会を作る際の発想は、ベラルーシが小さい子たちに自由に楽しく踊らせていて表現力を磨いていたことであった。その当初の発想をもって現在の形がある。意見はありがたく頂戴し、次年度以降の検討事項としたい。
- 本田代議員 チャイルド選手権の今度の種目は小学5・6年生の部でフープが入った。フープは FIG ローテーション・ジュニア種目の中に今年入っていない種目だ。チャイルド選手権の上位にくる選手は、全日本ジュニアなどに出場していて、この大会のフープを加えると 5 種目の演技を用意する事となる。選手にとってとても大変なので、種目の変更を検討してほしい。
- 谷口理事 チャイルド選手権の種目は 4 年間隔のローテーションで決まっている。このローテーションの狙いは、3～6年生の間に多くの種目に触れてもらうことが目的だ。31年度大会は事前案内のローテーション通りの種目となっているので、フープで実施したい。次年度以降は検討したい。
- 池田専務理事 ローテーションは以前から案内している。より多くの種目に触れてもらうことが目的だ。検討事項とさせていただいて、31年度は従前どおりフープで実施したい。
- 関田副会長 ご意見の意味合いはわかる。しかしこのローテーションを見て練習スケジュールを組んでいるクラブもいると思う。今後の検討事項としたい。

以上の後、第 1 号議案「平成 31 年度事業計画」については原案のとおり全会一致で可決承認された。

第 2 号議案 平成 31 年度・収支予算について（定款第 4, 35 条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。予算については実績を考慮し、計上している。

1. 日本新体操祭について

日本新体操祭を平成 31 年度は休止する。よって、収支共に 0 円計上とした。

2. 収入計について

その他事業は実績を参考に予算を組み、事業活動収入計 3 億 3264 万 4084 円を計上している。

3. 全国・国際競技会の開催支出について

競技会を昨年引き続き高崎で行う。前年実績を参考にしている。イオンカップでは2018は3日間開催であったが、2019年は4日間開催を予定している。4日間開催となり経費の増加となるのが普通であるが、業者等の見直しを行い、経費増を抑え、競技会開催支出を3億1173万6084円とした。

4. 事業費支出計について

その他事業は実績を参考に予算組を行い、31年度事業費支出を3億1482万6084円としている。

5. 管理費について

実績等から1781万8000円を管理費として計上している。

6. 合計額について

事業費支出と管理費を合わせ、3億3264万4084円が当期事業活動支出となり、当期収支差額が0円。

前期繰越収支差額1431万584円がそのまま次期繰越収支差額とした。

以上の説明の後、議長は質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第2号議案「平成31年度収支予算」について原案のとおり全会一致で可決承認された。

第3号議案「その他」について

議長は議場にその他議案の提出を諮ったが無かった。

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事、監事及び指名議事録署名人は次に記名押印する。

平成31年3月12日

公益社団法人 日本新体操連盟 平成30年度第2回総会

議事録署名人（代表理事） 二 木 英 徳

議事録署名人（指名） 渡 辺 守 成

議事録署名人（指名） 谷 口 裕 代